

# 内海産業 第二次「D&I行動計画」

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画



ジェンダーに関わらず、全てのメンバーが自分の目指す姿を描き、一人ひとりの強みを活かしながら主体的に行動し、挑戦し続けるために、内海産業は、D&I行動計画を策定し、全社員が一枚岩となり実践します。

## 目標 5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女兒のエンパワーメントを図る

- 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
- 5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性および女子に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
- 5.3 未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚、および女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
- 5.4 公共のサービス、インフラ、および社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
- 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参加および平等なリーダーシップの機会を確保する。
- 5.6 国際人口開発会議（ICPD）の行動計画および北京行動綱領、ならびにこれらの検討会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康および権利への普遍的アクセスを確保する。
  - 5.A 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ、および土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
  - 5.B 女性のエンパワーメント促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
  - 5.C ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性および女子のあらゆるレベルでのエンパワーメントのための適正な政策および拘束力のある法規を導入・強化する。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



# 1.基本方針

経営メッセージ～代表取締役社長 長野 慎

内海産業は、2019年8月にSDGsを経営に実装する事を目指し、「**8.4宣言**」と「**SDGs 価値創造モデル（ぐるぐるリボンモデル）**」を制定し、9つの「**内海産業 重点取り組み課題**」を掲げました。さらに、2019年9月に国連グローバルコンパクトに署名し「**原則6 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである**」について対外的なコミットメントを実施しました。2022年3月に、**バリューチェーンの総力をあげて、人権と多様性を尊重する「誰一人取り残さない世界」の実現に貢献する**べく掲げた「**人権/ダイバーシティ/ジェンダー/働きがい**」に基づく「**内海産業 D&I行動宣言**」を策定し、ジェンダーに関わらず全てのメンバーが自分らしく輝き続ける姿を目指す理想企業に向けた第一次計画を策定しました。今回の計画は、その実施状況を踏まえ、D&Iのさらなる拡大を目指す、第二次計画となっています。

女性活躍はわが社だけでなく、日本の人口構造を考えると我が国の重要な課題であると考え、2017年11月の**内海産業の「機会均等宣言」**に前後して、女性社員の採用や昇進、参画機会の増加等に取り組んで参りました。結果、女性従業員比率は、2017年3月の29.6%から2024年3月現在33.9%と高まり、出産・育児に関わる制度の整備・利用促進などを行い、育児休業取得率は男女ともに100%となりました。さらに、時間外労働の削減、有給休暇の取得促進、福利厚生・研修制度の充実等の施策を行った結果、2020年3月に「健康経営優良法人」、2021年5月に「くるみん」、2023年8月に「プラチナくるみん」の認定をいただくに至りました。

また、2023年4月に、顧客満足と働きがいの向上を目的とした新組織「CS課」を創設し、リーダーを女性メンバーに託しました。その結果、女性管理職比率は、10.6%となり産業平均値を上回る水準となりました。

一方、女性社員の平均勤続年数は、年々改善しつつあるものの、2024年現在「9.6年」と男性の平均勤続年数16.2年には及ばない状況であり、**真のWomen's Empowerment**の実現にはまだ課題があるのも現実です。私は、「**仕事を生産的なものにし、仕事を通じて働く人たちを活かす**」事が経営者の重要な3つの役割の一つであるとの認識のもと、**2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント、および社会的、経済的、および政治的な包含を促進する必要がある**と考えております。

「機会均等」を当然の事とし、**ジェンダー平等と女性のエンパワーメント**をはじめとするD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の取り組みは、内海産業にとって新たな価値を創造し、我々の事業を持続可能とする為の「重要経営課題」として位置付け、マネジメントと事業活動全般に浸透させることを確約します。

また、ジェンダーに対する取り組みは、内海産業固有の経営課題ではなく、「社会課題」との認識のもと、社内はもちろん2021年3月に制定した「**サステナブル調達方針**」「**価値共創ガイドライン**」に基づき、ジェンダーに関する取り組みについても協力会社を中心としたステークホルダーの皆さまとも価値共創の輪を広げて参ります。

今回の女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の計画期間は2年間です。本計画の終了する2026年にはWEPs署名を目指し、「えるぼし」の取得を目指します。また、この2年間で本計画で掲げたアクションプランの実践と同時に、下記5項目について、既存の取組とのつながりを意識し、それぞれについて責任の伴うアクションプランを立案し、具体的な実践を開始します。

- ① **職場におけるジェンダー平等**
- ② **社員の健康、ウェルビーイング、安全**
- ③ **女性のキャリアアップを可能にする教育と研修**
- ④ **サプライチェーン・マネジメントとマーケティング**
- ⑤ **社会貢献活動とアドボカシー（啓発）**

そして、同時にSDGsの達成期限である「2030年のあるべき姿」を具体的に描き、第2次計画をより内外からみて魅力的なアクションプランとし、わが社のビジョンの実現に邁進し、同時に、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献して参ります。

## 2. 行動計画・目標

### 1. 計画期間

2024年 4月1日 ~ 2026年3月31日

### 2. 第二次目標

ジェンダーによる継続就業年数に格差のない誰もが美しく花開く内海産業に  
進化する。

- ◎ 「**女性社員の継続就業年数 平均10.6年**」を実現する
- ◎ 「**入社5年目以上の女性社員の継続就業年数 平均13.0年**」を実現する

# 3.アクションプラン

## ジェンダーに関わらず、全てのメンバーが自分の目指す姿を描くための取組

★「顧客満足」「働きがい」向上を目的として創設した『CS課』の成功を、全てのメンバーが「我がゴト」として目指し、推進していく

★内海産業「価値共創ガイドライン」に基づき、バリューチェーンのD&Iに関わるベストプラクティスについて学ぶとともに、価値共創の輪を広げていく

### ◎CS課の成功に向け、『ありたい姿』の共有と、アクションプランの立案・実行

- ・ ゴール① CS課のミッションがCS課内に浸透し、ミッション実践のため「一つ余分に実行する」をチームで一貫して行っている・・・2024年12月
- ・ ゴール② CS課が目指す『ありたい姿（ビジョン）』が描かれ、PDCAを通じてその計画が全社共有されている状態・・・2025年4月
- ・ ゴール③ 上記『ありたい姿』に向けた施策が実行され、その振り返りを経て、次期計画が立案されている状態・・・2026年3月

### ◎協力会社との価値共創の輪を広げる

- ・ 価値共創アンケートに基づき、D&Iに関わる他社のベストプラクティスについて学ぶとともに、我が社の取り組みを共有する（インプットとアウトプット）  
2025年1月～

### ◎安心して長く働き続けられる環境の実現の為、連帯感や帰属意識の醸成

- ・ 等級別座談会等、横のつながりの強化（「えるぼし会」等） 2024年8月～
- ・ ジェンダー・国籍・障がいの有無に関わらず全てのメンバーが自分の目指す姿を描き、一人ひとりの強みを活かしながら主体的に行動できる環境の整備

### ◎多様な働き方を実現する為、育児・介護に関する各種制度の理解促進・制度充実

- ・ 仕事と介護の両立の実現に向けて、ガイドブック作成と制度の周知 2024年5月～
- ・ 多様な事情に寄り添うテレワーク運用の充実（育児・介護・傷病など） 2024年4月～

# 購買促進

8 働きがいも  
経済成長も

8.4 2030年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。

12 つくる責任  
つかう責任

12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

モノ×コト×トキ

STORY

顧客

生活者

承認文化

Mission  
最上の着想で、  
購買欲に  
火をつける。

継続学習

社会的インパクト  
買い物を楽しみ、  
モノを大切にする、  
持続可能な社会

内海産業の強み  
本当に良いものの価値を  
伝えていく  
**Utsumi**

協力会社

地球の未来

3 すべての人に  
健康と福祉を

4 質の高い教育を  
みんなに

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

8 働きがいも  
経済成長も

10 人や国の不平等  
をなくそう

12 つくる責任  
つかう責任

11 住み続けられる  
まちづくりを

13 気候変動に  
具体的な対策を

14 海の豊かさを  
守ろう

15 陸の豊かさも  
守ろう

内海産業 重点取り組み課題

人権 ダイバーシティ ジェンダー 働きがい 個人消費の低迷 少子高齢化 地域社会 プラスチックごみ 地球温暖化

内海産業のすべてのメンバーは、一枚岩となってミッション『最上の着想で、購買欲に火をつける。』を実践し、優れた商品・サービスの長期的・熱狂的ファンづくりをお手伝いし、カスタマーサクセスに貢献します。

そして、ビジョン『“購買促進”を、日本の常識に。』を探究し、「買ってうれしい」「買ってよかった」という“笑顔”を日本中にあふれさせ、同時に、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に貢献します。

### Environment

～地球に関して～



全てのステークホルダーに地球環境の課題を積極的に発信し、社会の意識を喚起し、ともに解決する価値共創の輪を広げます。また、環境責任を「我が事」として捉え、経済成長と環境悪化が分断された地球の未来を実現します。

### Social

～社会に関して～



「期待を超える3つのバリュー」を発揮する事で、人びとの買い物ゴコロに火をつけ、意欲ある購買を創出し、“買い物を楽しみ、愛着を持ってモノを大切にする社会”を実現します。

### Governance

～人に関して～



バリューチェーンの総力をあげて、人権と多様性を尊重する「誰一人取り残さない世界」の実現に貢献します。また、継続学習と承認文化により、多様な人財が主体的に強みを活かす働きがいのある職場を実現します。